

校長室だより

平成22年(2010年)5月7日

校長 箱家 勝規

自分の役割を果たす

1年生の葛川自然体験学習が無事に終わりました。

入学してまだ間がないにもかかわらず、2泊するという事で、楽しみの中にも緊張した宿泊体験ではなかったかと思っています。

1年生の担当教員は、「安全面に問題はないか」、「仲間づくりがうまくできるような内容か」、「健康面で配慮すべきことに漏れがないか」、「雨の時の活動はどうするか」などと連日にわたって、綿密な打ち合わせをしてきました。その成果があらわれたと思っています。

さて、私は、この自然体験学習で1年生のすばらしさを再発見しました。

それは、各自が自分の役割に責任持って果たしていたことです。

2日目の野外炊事では、自分たちが食べるカレーづくりで、火起こし、食材の準備、そして後かたづけまでを協力しながら進めていました。食材の準備をする担当、火起こしの担当、飯ごうの準備をする担当などと役割を決めて、それに最後まで責任を持って取り組んでいました。後かたづけでは、蛇口の数は充分でなかったにもかかわらず、順番を待ちながら、また、隣の班と譲り合いながら洗い物をしている姿が見られました。



ある班では、自分たちが使っていたお玉やさえ箸をなくしてしまい、班員全員で探す姿も印象的でした。

その夜、宿舍の風呂のボイラーが一時故障し、予定よりも遅れて風呂の時間になってしまいました。夜の学級対抗綱引きの実施が危ぶまれたのですが、夕食の準備、後かたづけ、風呂の時間など、各自の役割を能率よくすませたため、時間を取り戻すことができ、学級対抗の楽しい時間を過ごすことができました。

自分の役割を果たすことで、班や学級、そして学年のまとまりが強くなりましたし、何よりもみんなで楽しい時間を分かち合うことができたと思います。

よい思い出とともに、自分の役割を果たす大切さをあらためて感じた3日間でした。